

リーグ戦について

平素は、三重県高体連バスケットボール部の活動に対し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。さて、来年度から計画をしておりますリーグ戦の実施について説明をさせていただきます。あくまでも参加・不参加は強制されるものではなく各チームのご判断になりますが、以下の文章をご一読いただきより多くのチームのご参加をお待ちしております。

1. 経緯

2017年に日本協会より「リーグ戦文化」の構想が各県に伝えられました。2020年にリーグ戦導入、2025年にブロックリーグ整備を目標に進めるとのことでした。その後、各県とも独自のルールを決めるなど様々な取り組みがなされ、**各県独自の形式でのリーグ戦が実施されている**ところです。本県は、他県の情報を収集しながら日本協会とも確認を重ね、慎重に計画を練って現在に至っています。様々な状況を鑑み実施を引き延ばしにすることにもリミットがきていることもあり、来年度は本県独自のリーグ戦を実施したいと考えております。

2. リーグ戦の趣旨(日本協会より)

- ・リーグ化により選手として経験の場の増加。(補欠文化からの脱却)
- ・リーグ化により拮抗した試合数の増加。(適正競技レベルでの経験値増加)
- ・運営を役員に任せる文化から脱却し、参加者同士が相互に運営するという文化への転換。

3. 三重県 U18 部会の考え方

リーグ戦の実施にあたっては、指導者の皆様や選手への負担などに関するご心配を多々お聞きしていることから、三重県 U18 部会では、**指導者や生徒への負担を出るだけ軽減しながら日本協会の趣旨から逸脱しない形での提案**を考えました。ただ、「分からないところが分からない」といった部分もあり、本格実施に向けて運営をしながら課題を探ることも必要であるとも考えております。今後の見通しについても明確なものが無い状態でのスタートになりますが、現在考え得るなかでのよりベターなものにしていきたい所存です。趣旨については理解できるものの実際の運営になると懸念されることも多々ありますがご理解の程宜しくお願いいたします。